

2023年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

1 事業の成果

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことにより、社会経済活動の正常化が進んだ一年であった。

このため、当センターの事業実施にあたっては、対面方式とオンライン方式の開催を組み合わせながら、「地域における環境改善への取組」、「市民活動及び他地区との交流」及び「臨海部の活性化に向けた連携活動」などの事業を推進し、会員間の交流と川崎市との連携活動を進めた。

リエゾン研究会については、東京ガスネットワーク(株)技術研究所及び東京ガス横浜テクノステーション、JFE スチール(株)南渡田地区、ENEOS(株)浮島地区を視察し、会員企業の取組事例等の相互の情報共有を図るとともに、川崎市と連携し臨海部ビジョン・リーディングプロジェクトに関連した取組みを進めることができた。

第14回目となった「コンビナート都市連携シンポジウム」については、昨年度までは会場の参加者を関係者のみに限定してきたが、今年度は一般の参加者も会場での聴講を受入れ、オンラインのライブ中継を組み合わせたハイブリッド方式により実施した。基調講演は成城大学経済学部経営学科の平野創教授による「カーボンニュートラルに向けた各地の取組」と題する講演、特別講演として石油・石化コンビナートのカーボンニュートラルに向けた取組とCO2削減の見通し、e-methane（合成メタン）の社会実装に向けた取組みをはじめ、中部圏、山口県周南でのカーボンニュートラルの取組についてそれぞれ発表していただいた。会場参加者は49名、オンライン参加者は177名と多くの企業関係者や自治体関係者に参加していただき、またシンポジウム終了後は、4年振りに懇親会を開催し、カーボンニュートラルの様々な取組について情報共有を図ることができた。

11月に開催した川崎市との政策懇談会については、対面方式により開催し、川崎市の臨海部施策推進担当の5局長・1本部長及び、川崎市が2024年市制100周年を迎えることから文化施策を担当する市民文化局長にも参加していただき、政策課題の発表とともに、会員企業2社の最近の取組事例の発表、さらには交流会も開催し情報共有を図ることができた。

「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」では、対面方式とオンライン方式の開催を組み合わせ、臨海部に関する道路の整備や計画等について川崎市の道路関係部局と会員企業で活発な意見交換を行ない臨海部の環境改善に向けた取組みを進めた。

「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」では、J&T環境(株)及びJFEアーバンリサイクル(株)工場を視察するとともに、環境局より川崎市のプラスチック資源循環に向けた取組に関する情報提供があり、それぞれの認識が深まった。

昨年度、川崎市主催・当NPO共催事業として実施した「製造現場の安全管理講座」については、今年度は当NPO主催・川崎市共催として実施し、4回の講座で、延べ50名が受講、また、「火災爆発講習」についても当NPO主催・川崎市共催として新たに実施し、2回の講座で、延べ41名が受講、地域の人材育成並びに安全環境の向上につなげた。

受託事業としては、今年度新たに、「石油・化学・エネルギー等の保守点検業務に係るスマート保安の推進とドローンの活用」及び「若年層向け安全管理講座」を実施し、技能人材の育成を図るとともに、令和4年度に引き続き、臨海部企業交流イベントとして川崎市本庁舎見学会並びに

ウォークイベント&クルーズ（開催予定）により、臨海部に働く方たちの企業の枠を超えた交流を進めた。

第15回川崎国際環境技術展に出展し、企業関係者並びに市民に対して当NPOの活動内容を紹介した。

また、今年度「低CO2川崎ブランド等推進協議会」から改組された「川崎CNブランド等推進協議会」に引き続き参画するとともに、今年度から「川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム」及び「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」へも新たに参画し、川崎市が推進する脱炭素に関する企業支援の取り組みに積極的に参加した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(定款第5条① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業)

◎自主事業ア リエゾン研究会・政策懇談会事業

- ・費用額 108,934円

◎ア-1 リエゾン研究会事業

- ・内容

「リエゾン研究・交流会」は、①IoT、カーボンニュートラルなどの課題に対して会員企業等が取り組んでいる事例について会員相互の情報共有を図る、②会員企業や関連事業者等による新たな土地活用等についての視察会等を通じて活性化策や環境改善策につなげる、③川崎市の「臨海部ビジョン・リーディングプロジェクト」に関連したテーマについての提案や共同取り組みを行なうことを目的に取組みを進めてきたが、2023年度は以下の研究・交流会を開催した。

【第1回リエゾン研究会】

◇情報交換・意見交換内容

川崎市の関連部局と情報交換を行なうとともに、2023年度の視察について会員から要望を聞いた上で、視察先の検討を行なった。

- ・日時 2023年4月19日(水)
- ・場所 川崎市産業振興会館 経済労働局会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 32人

【第2回リエゾン研究会(東京ガスネットワーク(株)技術研究所及び東京ガス横浜テクノステーション)】

◇視察・情報交換内容

- ・同地区を視察し、メタネーションの研究紹介及び施設見学を行ない情報共有を図った。
- ・日時 2023年7月26日(水)
- ・場所 東京ガスネットワーク(株)技術研究所及び東京ガス横浜テクノステーション
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 17人

【第3回リエゾン研究会(JFE スチール(株)南渡田地区)】

◇視察・情報交換内容

- ・ JFE スチール(株)南渡田地区の再開発状況について説明を伺うとともに、川崎市から同地区の計画に関する情報提供をうけ情報共有を図った。併せて京浜ビル屋上から同地区を視察した。
- ・ 日時 2023年8月23日(水)
- ・ 場所 JFE スチール(株)南渡田地区
- ・ 従事者人員 4人
- ・ 対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 24人

【第4回リエゾン研究会(ENEOS(株)浮島地区)】

◇視察・情報交換内容

- ・ ENEOS(株)浮島地区の製油所の概要説明を伺うとともに、視察を行ない情報共有を図った。
- ・ 日時 2024年2月14日(木)
- ・ 場所 ENEOS(株)浮島地区
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 23人

【第5回リエゾン研究会(川崎市の脱炭素に関する新たな計画書・報告書制度に関する意見交換会)】

◇意見交換内容

- ・ 川崎市の脱炭素に関する新たな計画書・報告書制度「事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度」について、川崎市環境局脱炭素戦略推進室担当課長加藤剛史氏より説明を受け、その後意見交換を行った。
- ・ 日時 2024年3月13日(水)
- ・ 場所 川崎市産業振興会館10階会議室
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 23人

◎ア-2 「川崎市との政策懇談会事業」

・ 内容

臨海部関連の川崎市の政策課題取組状況・予算措置状況等並びに会員企業の新たな課題への取組み状況について、役員・会員と川崎市関係局幹部との情報共有並びに意見交換を行った

<第1回政策懇談会>

◇川崎市6局・1本部からの情報提供

[経済労働局] 「経済労働局の取組について」

[環境局] 「環境局の取組について」

[まちづくり局] 「川崎駅周辺地区の取組状況」

[建設緑政局] 「全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について」

[港湾局] 「川崎港長期構想の概要」他
[臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョンのリーディングプロジェクト改定」
[市民文化局] 「文化振興施策のこれまでとこれから」
◇会員企業からの情報提供
[JFE アーバンリサイクル株式会社] 「会社概要」
[東亜建設工業株式会社] 「事業概要、脱炭素の取組」等

<第2回政策懇談会>

◇川崎市5局・1本部からの情報提供
[経済労働局] 「経済労働局の取組」
[環境局] 「令和6年度脱炭素化の推進に係る主な予算について」他
[まちづくり局] 「令和6年度まちづくり局予算案（主な取組）」
[建設緑政局] 「全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について」
[港湾局] 「令和6年度港湾局予算案概要」
[臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョン」
◇会員企業からの情報提供
[味の素株式会社] 「味の素グループおよび川崎事業所の概要・環境負荷削減の取り組み」
[東京ガス株式会社] 「地域の皆さまと共に未来を創る～地域共創の取組みについて」

- ・日時 第1回政策懇談会 2023年11月27日(木)
第2回政策懇談会 2024年2月8日(水)
- ・場所 第1回政策懇談会 川崎市産業振興会館1階ホール
第2回政策懇談会 川崎市産業振興会館9階研修室
- ・従事者人員 12人(会員企業幹事7名を含む(無給))
- ・対象者 「第1回川崎市との政策懇談会事業」
リエゾンセンター役員・会員33名と川崎市関係局幹部28名
「第2回川崎市との政策懇談会事業」
リエゾンセンター役員・会員37名と川崎市関係局幹部21名

◎ア-3 「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会（通算第25回）」

- ・内容
臨海部地域における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定についての意見交換
※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより2009年11月に発足した。
- ・日時 2024年1月23日(火)
- ・場所 川崎市本庁舎2階203会議室、オンライン(Teams)併用
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員20名と川崎市関係局幹部等19名

◎ア-4 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」

・内容

「川崎市における事業者と連携したプラスチック循環に向けた取組」について説明及び意見交換を行なうとともに、J&T 環境株式会社のペットボトルリサイクル工場と JFE アーバンリサイクル株式会社の家電リサイクル工場の視察を行なった。

※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより 2009 年に発足した

・日時 2024 年 1 月 16 日 (火)

・場所 J&T 環境株式会社のペットボトルリサイクル工場と JFE アーバンリサイクル株式会社の家電リサイクル工場

・従事者人員 3 人

・対象者 リエゾンセンター役員・会員 8 名と川崎市関係局幹部 5 名

(定款第 5 条② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業)

◎自主事業イ 普及・広報事業

・費用額 622,138 円

◎イ-1 「コンビナート都市連携シンポジウム(第 14 回)の開催事業」

・内容

本シンポジウムはこれまで 13 回にわたり、鹿島、京葉、京浜、四日市をはじめ全国各地のコンビナート地域等の先進的な取組事例等を取り上げ、地域間連携や事業所間連携、産学官連携の取組について情報共有並びに議論を深めてきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことから、会場での参加と Web での聴講のハイブリッド方式を取り入れながら、各地コンビナートでの脱炭素化の動き等臨海部地域での先進的な取組の情報発信を図った。

■基調講演

「カーボンニュートラルに向けた各地の取り組み」

成城大学 経済学部経営学科 平野 創 教授

■特別講演(事例発表)

◇「石油・石化コンビナートのカーボンニュートラルに向けた取組と CO2 削減見通し」

RING(石油コンビナート高度統合運営技術研究組合) 技術部長 原本 浩隆 氏

◇「e-methane(合成メタン)の社会実装に向けた取り組み」

東京ガス株式会社 グリーントランスフォーメーションカンパニー e-methane 推進部部长

小林 裕司 氏

◇「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議の取組について」

愛知県 経済産業局産業科学技術課 担当課長 都筑 秀典 氏

◇「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議 水素社会実装ワーキンググループ(中部圏水

素利用協議会)の取組み」

中部圏水素利用協議会 事務局 株式会社三井住友銀行 サステナブルソリューション部 二宮 雅史 氏

◇「周南コンビナートにおけるアンモニア供給拠点インフラ整備検討について」

出光興産株式会社 CNX 戦略室 水素・アンモニア事業課 課長 片桐 絢也 氏

[主催] 当 NPO 法人 [共催] 川崎市

[後援] 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、RING(石油コンビナート高度統合運営技術研究組合、四日市市、周南市、川崎商工会議所、(公財)川崎市産業振興財団、(株)化学工業日報社

- ・日時 2023年10月27日(金)
- ・場所 産業振興会館1階ホールでの参加とWeb方式で中継映像を全国各地の参加者に配信し聴講いただいた。
- ・従事者人員 11人(当センター5人委託先要員4人、会員企業幹事2人を含む)
- ・対象者 リエゾンセンター会員、後援団体、市内の関係者・市民、全国各地で関心のあるコンビナート関係企業・行政機関、発表者等に聴講を働きかけ、会場参加49名Web177名

◎イー2 「展示会等への出展事業」

・内容

a 第16回川崎国際環境技術展への出展

「技術と英知の融合が切り開くグリーントランスインフォメーション」をテーマとした展示会は、カルッツかわさきで展示会場を設けての開催となったが、当センターのブースでは、センター事業の概要、川崎臨海部発展の歴史や今後の方向について展示により情報発信を行なった。

b 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 当 NPO 法人の活動状況の紹介パネルを展示した。また、会員企業の ENEOS(株)、JFE スチール(株)、(株)レゾナック、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)もパネル展示により活動を紹介した。

・日時

a 第16回川崎国際環境技術展 2023年11月15日(水)～11月16日(木)

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」2022年11月23日(水)

・場所

a 第15回川崎国際環境技術展 カルッツかわさき(川崎区富士見1-1-4)

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」川崎ルフロン(川崎区日進町1-11)

・従事者人員

a 第15回川崎国際環境技術展 5人

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」2人

・対象者

a 第15回川崎国際環境技術展 展示会に関心のある人

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」川崎区民及び交流 Day に関心のある人

◎イ-3 「川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会事業(月例メール配信事業)」

- ・内容

本情報交換会は、臨海部に関連する会員情報並びに行政からの施策情報等を相互に交換し情報共有を図るとともに必要な情報を会員に提供した。

- ・日時

2023年4月14日(金)に第1回情報交換会を開催し、5月以降は毎月第2週にメール配信による情報共有を行なった。

- ・場所 共有した情報についてはメール配信により全会員企業に提供した

- ・従事者人員 2人

- ・対象者

NPO 法人会員企業 19 社

川崎市; 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室の課長、係長、担当職員 9人

当 NPO 法人; 専務理事、事務局 3人

※メールによる情報共有先は会員企業 19 社と事務局及び川崎市関係部局職員 約 30 人

◎イ-4 「会報の発行事業」

- ・内容

会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人の活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供した。

<第46号> 「第75回理事会」・「第19回通常総会・記念講演会」、「リエゾン研究会(視察会)東京ガス鶴見地区、JFE スチール南渡田地区」

<第47号> 「第77回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「コンビナート都市連携シンポジウムの開催」、「第15回川崎国際環境技術展へのブース出展」、「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流 Day へのブース出展」

<第48号> 「第78回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」、「製造現場の安全管理講座(前期)の開催」、「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議の開催」、「川崎臨海部活性化推進協議会」「火災爆発講習の開催」「安全体感研修の開催」「リエゾン研究会(視察会)ENEOS 浮島地区」「カワリンウォーク・カワリンクルーズの開催」

- ・日時

<第46号> (2023年9月19日発行)

<第47号> (2023年12月1日発行)

<第48号> (2024年3月31日発行)

- ・場所 メール配信により情報提供した

- ・従事者人員 2人

- ・対象者 法人会員(19社)・個人会員(15人)・川崎市 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室

◎イ-5 「ホームページを通じた情報発信等事業」

- ・内容

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、当 NPO 法人が実施した活動を随時掲載した。

- ・日時 「会員企業の最新の動向」は前月の会員企業各社のプレスリリース情報を取りまとめ翌月の第 1 週にアップロードした。その他の情報は、随時アップロードした。
- ・場所 当法人のホームページに掲載
- ・従事者人員 2 人
- ・対象者 当法人会員企業 19 社川崎市関係局・本部、臨海部に関心のある市民・企業

(定款第 5 条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎自主事業ウ 安全管理講座

臨海部ビジョンのリーディングプロジェクト「世界に誇れる人材育成プロジェクト」に基づき以下の事業について川崎市と共催し、臨海部地域の企業の枠を超えた技能人材や研究開発人材の確保・育成につなげる。

会員企業及び臨海部立地企業が直面している技能人材や研究開発人材の確保・育成のための企業の枠を超えた「共通講座」として会員企業及び臨海部立地事業所の社員を対象とした安全管理に関する講座を開催する。

- ・費用額 1,261,553 円

◎ウー1 「製造現場の安全管理講座」

- ・内容 製造現場の責任者等を対象に、製造現場の安全管理について、様々な角度から、豊富な事例を交えて講義を行う。

- ・日時 2024 年 1 月 10 日(水)「製造現場の変化と技術・技能伝承」
17 日(水)「リスクは、機能しているか」
24 日(水)「これからの安全管理」
31 日(水)「化学プラントと安全文化」

- ・場所 川崎市産業振興会館会議室及びオンライン配信のハイブリッド方式
- ・講師 (一社)京葉人材育成会 代表理事・会長 中村昌允氏
- ・対象者 臨海部事業所で製造現場の責任者等や、経営者・管理者等
- ・従事人員 2 名
- ・受講者 10 日(水) 11 名、17 日(水) 14 名、24 日(水) 13 名、31 日(水) 12 名

◎ウー2 「火災爆発講座」

- ・内容 石油・石化工場の危険物取扱等に関する講習
- ・日時 2024 年 4 月 21 日(金)「火災・爆発体験講習」
12 月 6 日(水)「火災爆発講座」

- ・場所 4 月 21 日(金)川崎市役所第 4 庁舎会議室、消防庁消防研究センター(見学)
12 月 6 日(水)川崎市産業振興会館会議室
- ・講師 元石油化学工業協会技術部長 岩間啓一氏

- ・対象者 石油・石化工場の危険物・可燃物等を扱う若年の現場運転員等
- ・従事人員 2名
- ・受講者 4月21日(金) 25名 12月6日(水) 16名

(定款第5条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎受託事業ア 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

(受託先は川崎市臨海部国際戦略本部)

- ・費用額 2,607,000円

◎内容ア-1 「川崎臨海部活性化推進協議会」運営等業務

前年度に引き続き上記協議会の事務局として2回の協議会の開催・運営を行った。

<2023年度第1回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況

- ・リーディングプロジェクト2023年6月改定に基づく今後の取り組むべき方向性
- ・JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の高炉休止に伴う土地利用方針について
- ・塩浜3丁目周辺地区における大型車の路上駐停車抑制に関する取組について

(2) リーディングプロジェクトに関する取組

【PJ④カーボンニュートラル推進関連】

- ・デイ・シイ川崎工場のカーボンニュートラルモデル工場に向けた検討について
(株式会社デイ・シイ)

(3) 情報提供

- ・羽田空港の機能強化について
- ・カーボンニュートラルの早期実現に向けた川崎市と川崎重工業株式会社との連携協定締結
- ・川崎市市制100周年記念事業の取組について
- ・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について

<2023年度第2回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況

(2) リーディングプロジェクトに関する取組

- ・川崎臨海部の交通機能強化に向けた取組について
- ・川崎区内におけるAIオンデマンドバス実証実験および自動運転バス実証実験について
- ・交通機能強化及び環境改善に関する事前アンケート結果報告

(3) 情報提供

- ・新産業創出拠点 新川崎・創造のもりについて
- ・川崎市市制100周年記念事業の取組について
- ・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について
- ・東京湾沿岸における高潮浸水想定区域等の見直しについて

- ・日時

<第1回協議会>2023年10月16日(月)14時~16時15分

<第2回協議会>2024年2月26日(月)14時~16時

- ・場所

<第1回協議会>川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

<第2回協議会>川崎市役所本庁舎2階ホール

- ・従事者人員 7人(当センターからの委託先要員4人を含む)
- ・対象者

各回とも以下のとおり

川崎臨海部立地企業及び準ずる企業・団体等、川崎臨海部地域に関わる経済・産業団体、川崎臨海部産業立地等に関わる大学研究者及び学識経験者等、川崎臨海部地域に関わる地域代表者、行政機関、

◎内容ア-2 臨海部ビジョン「働きやすく暮らしやすい環境づくりプロジェクト」に基づく、企業交流事業

川崎臨海部の企業等で働く社員等に対し、川崎臨海部という同じエリアで働く仲間として、気軽に参加し、業務にもつながるような交流事業を実施。

〈川崎市役所新本庁舎見学及び交流会〉

- ・内容

令和5年6月に完成した川崎市役所新本庁舎のスカイデッキから、解説付きで川崎臨海部を眺め、その後交流会を実施した。

- ・日時 2023年12月7日(木)
- ・場所 川崎市役所新本庁舎スカイデッキ
- ・従事者人員 2名
- ・参加者 43名

〈カワリンウォーク&クルーズ〉

- ・内容

川崎臨海部に働く方たちが事業所の枠を超えた交流の機会として歩数を競いながら臨海部の魅力スポット等を紹介するオンライン型のウォークイベントを開催するとともに、クルーズ当日はウォーク上位者を表彰するとともに、市巡視船で川崎臨海部を海から眺めつつ、参加者同士の交流を図った。

- ・日時

「カワリンウォーク」 2024年1月1日(月)~1月31日(水)

「カワリンクルーズ」 2024年2月22日(木)14時~16時30分

- ・場所

「カワリンウォーク」 特定の場所に限定しないオンライン方式

「カワリンクルーズ」 市巡視船で川崎臨海部を周遊

- ・従事者人員 2名
- ・対象者

「カワリンウオーク」 川崎臨海部の事業所で働く社員等 37名

「カワリンクルーズ」 川崎臨海部の事業所で働く社員等 12名

◎内容ア-3 臨海部ビジョン「世界に誇れる人材育成プロジェクト」に基づく、技能人材育成講座・研修

<新技術導入講座>

- ・内容

石油・化学・エネルギープラント等の保守点検について、その動向を川崎市消防局から、プラントDXによる設備保全業務の高度化について、(株)センシンロボティクスから講義を行うとともに、製油所内で実際にドローンを活用して事例紹介を行なった。

- ・日時 2023年11月17日(金)

- ・場所 ENEOS(株)川崎製油所川崎地区

- ・従事者人員 2名

- ・参加者 33名

<安全体感研修>

- ・内容

JFEプラントエンジニア(株)「安全工事体感訓練センター」において初学者向け安全体感研修を実施。

- ・日時 2023年12月13日(水)

2024年2月28日(水)

- ・場所 JFEプラントエンジニア(株)「安全工事体感訓練センター」

- ・従事者人員 2名

- ・参加者 2023年12月13日(水) 9名

2024年2月28日(水) 8名

◎内容ア-4 臨海部ビジョン「エリアブランディングプロジェクト」に基づく、臨海部の情報発信、知名度向上に向けた環境・産業交流コーナーの管理及び情報発信・収集等

<環境・産業交流コーナーの管理>

川崎市産業振興会館12階の「環境・産業交流コーナー」において以下の情報を収集し閲覧できるように管理した。

① 川崎臨海部立地企業のカーボンニュートラルに向けた取組状況、CSR・環境レポート、川崎事業所概要

② 石油業界、石油化学業界、鉄鋼業界など臨海部立地業種に係る動向、全国各地コンビナートの動向、川崎市の臨海部関連・地球温暖化対策関連施策

- ・日時 月曜日から金曜日の10時から16時の時間帯に開館をした。

- ・場所 川崎市産業振興会館12階

- ・従事者人員 2名

- ・対象者 コーナーに関心のある市民・企業等

<ホームページによる情報発信・収集>

- ・内容

毎月、会員企業 19 社の技術革新、国内外展開、社会貢献活動等についてのニュースリリース記事を収集し、収集情報を当 NPO のホームページにアップし会員企業並びに川崎市の臨海部関連部に配信するとともに一般に公開した。

- ・場所 Web で発信
- ・従事者人員 2 名
- ・対象者 臨海部に関心のある市民・企業等

◎その他事業

各種協議会、委員会等への参加

- ・費用額 0 円
- ・内容

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

◇「川崎温暖化対策推進会議（CC 川崎エコ会議）」（事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室）

[会長] 足立芳寛理事長

[理事] (33 名の理事の内、味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)の 5 社が参加している)

[運営委員会] 委員長 中村専務理事

[委員] (10 名の委員の内、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)が委員として参加)

[主な実施事業]

第 12 回スマートライフスタイル大賞表彰式が 2023 年 10 月 18 日(水)に開催された。

◇「川崎 CN ブランド等推進協議会」

[構成団体] 川崎市・川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当 NPO 法人

[委員長] 足立芳寛理事長 (併せて審査部会委員長)

[委員] 中村専務理事 (併せて運営・推進部会委員)

[主な活動内容]

今年度から、低炭素から脱炭素を目指すため「低 CO2 川崎ブランド」を「川崎 CN ブランド」に変更し、川崎市と産業支援団体等が連携して認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。2023 年 11 月 15 日に「川崎 CN ブランド」認定式が行われ、次の会員企業が大賞の認定を受けた。

JFE スチール(株) 「高速モーター用 Si 傾斜磁性材料 JNRF」

(2009 年度からの認定企業数は会員企業累計 19 社・35 件、全市合計 128 件)

◇「川崎国際環境技術展実行委員会」(事務局 川崎市経済労働局イノベーション推進室)

[委員] 足立芳寛理事長

◇「川崎区企業市民交流事業推進委員会」 (事務局川崎区まちづくり推進部)

[委員] 長瀬事務局長

[会員企業] 当 NPO の次の会員企業 6 社が参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、(株)レゾナック、東京ガス(株)、

東京電力パワーグリッド(株)

◇「川崎港長期構想検討委員会」

[委員] 中村専務理事 会員の ENEOS(株)も委員として参加

[主な活動内容]

川崎港の今後の役割を踏まえ長期的視野に立った川崎港の将来像やその実現に向けた取組みの方向性等を検討する委員会に参加し委員会に1回出席した。今年度で委員会終了。

◇「当法人及び会員企業が参加するその他の主な会議」

a 川崎臨海部防災協議会

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

[設置] 2012年1月

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業から旭化成(株)、ENEOS(株)、JFEアーバンリサイクル(株)、JFEスチール(株)、クレハ環境(株)、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当NPO法人

[事務局] 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部

[活動概要]

地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、新型コロナウイルスに対する川崎市の対応、今後の取組等が情報共有された。

<第1回> 2023年6月12日(月) 川崎市役所第3庁舎会議室

<第2回> 2024年1月20日(水) 川崎市役所本庁舎会議室

<2023年度川崎臨海部広域防災訓練> 2024年3月15日(金): 他業務との重複のため不参加

- ・日時 各協議会、委員会等が設定した日時
- ・場所 各協議会、委員会等が設定した場所
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 各協議会、委員会等に出席した対象者

b 川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会

[目的] 川崎臨海部をカーボンニュートラル化しながら産業競争力を強化するため、カーボンニュートラルコンビナート構築に向けた意識を共有し、協力して取組を推進するため協議会を設置。

[設置] 2020年5月。当NPO法人は、2023年11月入会

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業から旭化成(株)、味の素(株)、ENEOS(株)、クレハ環境(株)、J&T環境(株)、JFEエンジニアリング(株)、JFEスチール(株)、東亜建設工業(株)、東京ガスグループ、東京電力グループ、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当NPO法人

[事務局] 川崎市臨海部成長戦略推進部

[活動概要] 協議会を開催しカーボンニュートラルコンビナート形成に向けた協議を行う

c 川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム

[目的] 中小企業への地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制を創設し、参画する金融機関や中小企業の経営支援を行う団体などの特性を掛け合わせた総合的な支援を実施。

[設置] 2023年9月。

[構成員] 市内中小企業、市内企業関係団体、地元金融機関、市内中小企業支援団体、市内大学等及び川崎市。当NPO法人は市内企業関係団体として参画。

[事務局] 川崎市環境局脱炭素戦略推進室

[活動概要] コンソーシアム参画団体による企業支援、人材育成セミナー・交流会等

3 運営体制等

(1) 役員は11名体制のもとに、理事長を中心に事業計画・予算等の主要な方針を決定するとともに、川崎市との政策懇談等の当NPO法人の重要な具体事業において主要な役割を担った。

(2) 会員数 (2024年3月末現在)

団体会員19社、個人会員14人及び賛助会員2社

(3) 幹事会は、引き続き次の7社で運営した。会合は、当センター事務室及びMicrosoft Teamsを使用したWebでの開催となった。(4月、7月、10月、12月)当NPO法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

・幹事長 東京ガス(株)

・副幹事長 ㈱浜銀総合研究所

・幹事 JFEスチール(株)、㈱デイ・シイ、東亜石油(株)、東京電力パワーグリッド(株)
ENEOS(株)

2 2023年度の主な事業活動報告

<4月>

- 19日(水) 川崎市関係局との情報交換会・第1回リエゾン研究会・第1回幹事会
- 21日(金) 当センター主催・川崎市共催火災爆発体験講習会(午前座学、午後調布市の消防庁消防研究センターで施設見学)
- 27日(木) 川崎 CN ブランド運営推進部会(専務理事出席)

<5月>

- 8日(月) 川崎 CN ブランド協議会(理事長・専務理事出席)
- 8日(月) 川崎 CN ブランド協議会(理事長・専務理事出席)
- 10日(水) 小澤監事による2022年度事業及び決算についての監査
- 18日(木) 第75回理事会・第19回通常総会・記念講演会(講師 中村昌允氏)
- 19日(金) 国際環境技術展実行委員会(理事長代理として専務理事出席)

<6月>

- 1日(木) 第76回理事会(書面協議 専務理事の選任)
- 1日(木) 川崎区企業市民交流事業推進委員会(事務局長出席)
- 7日(水) 臨海部人材育成企画会議
- 12日(月) CC川崎エコ会議運営委員会(専務理事出席)
- 12日(月) 川崎臨海部防災協議会(専務理事出席)
- 15日(木) 川崎区企業市民委員会交流部会(事務局長出席)
- 20日(火) 川崎港長期構想検討委員会(専務理事出席)

<7月>

- 11日(火) 第2回幹事会
- 11日(火) CC川崎エコ会議理事会(理事長・専務理事出席)
- 26日(水) 第2回リエゾン研究会(東京ガスネットワーク(株)技術研究所等視察)

<8月>

- 17日(木) スマートライフ大賞審査委員会(専務理事出席)
- 23日(水) 第3回リエゾン研究会(JFEスチール(株)南渡田地区視察)
- 28日(月) 川崎市地球温暖化防止活動推進センター運営会議(専務理事出席)
- 29日(火) 市制100周年記念事業・緑化かわさきフェア実行委員会(理事長代理として専務理事出席)
- 31日(木) スマートライフ大賞選考委員会(理事長・専務理事出席)

<9月>

- 8日(金) 第4回リエゾン研究会(ENSOS(株)浮島地区視察)⇒台風のため延期
- 28日(木) 川崎 CN ブランド運営推進部会(専務理事出席)

<10月>

- 10日(火) 第3回幹事会
- 10日(火) 川崎 CN ブランド協議会(理事長・専務理事出席)

12日(木) 国際環境技術展実行委員会(理事長代理として専務理事出席)

16日(月) 第1回川崎臨海部活性化推進協議会

27日(金) 第14回都市連携コンビナートシンポジウム

<11月>

6日(月) 川崎市役所新本庁舎開庁記念式典(理事長代理として専務理事出席)

9日(木) 第77回理事会・政策懇談会

10日(金) 川崎区企業市民交流事業推進委員会(事務局長出席)

15日(水)~16日(木) 川崎国際環境技術展 出展

17日(金) 臨海部企業の人材育成講座・新技術導入講座(川崎市主催 開催場所:ENEOS(株)川崎製油所)

20日(月) 第2回臨海部人材育成企画会議

23日(木・祝) かわさき企業市民交流 Day(事務局長出席)

<12月>

6日(水) 臨海部企業の人材育成講座・火災爆発講習(当センター主催・川崎市共催 開催場所:川崎市産業振興会館)

7日(木) 企業間交流イベント:川崎市役所新本庁舎見学及び交流会(川崎市主催)

10日(日) かわさき環境フォーラム(専務理事出席)

13日(水) 臨海部企業の人材育成講座・安全体感研修(川崎市主催 開催場所:JFEプラントエンジニア(株))

2024年

<1月>

10日・17日・24日・31日:臨海部企業の人材育成講座・管理者層向け安全管理講座(当センター主催・川崎市共催 開催場所:川崎市産業振興会館)

16日(火)環境産業との連携連絡会議(廃棄物施設見学会 JFEアーバンリサイクル(株)家電リサイクル工場・J&T環境(株)ペットボトル工場)

23日(火) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会

<2月>

7日(水) CC川崎エコ会議運営委員会(専務理事出席)

8日(木) 第78回理事会・政策懇談会

14日 第4回リエゾン研究会(ENSOS(株)浮島地区視察)

15日(木) 国際環境技術展実行委員会(理事長代理として専務理事出席)

22日(木) 企業間交流イベント:カワリンウォーク&クルーズ(川崎市主催)

26日(月) 第2回川崎臨海部活性化推進協議会

28日(水) 臨海部企業の人材育成講座・安全体感研修(川崎市主催 開催場所:JFEプラントエンジニア(株))

<3月>

12日(火) CC川崎エコ会議理事会(理事長・専務理事出席)

- 13 日(水) 第 5 回リエゾン研究会 (川崎市の脱炭素に関する新たな計画書・報告書制度について)
- 14 日(木) 川崎 CN ブランド運営推進部会 (専務理事出席)